

お客様各位

令和 8 年 7 月吉日
株式会社ファティマ

LIFE システム移管に伴う移行作業のお願いおよび運用のご確認（7 月末まで必須）

平素より弊社システム「Quick けあ」をご利用いただき、誠にありがとうございます。
厚生労働省の LIFE システムが国保連へ完全移管されることに伴い、【本年 7 月末まで】に、貴施設側にて必ず LIFE の移行作業、および設定確認を完了していただく必要がございます。移行期限を過ぎますと、旧システムは順次サービス停止となり、過去のデータ等にアクセスできなくなります。つきましては、下記項目について必ずご対応・ご確認いただきますようお願い申し上げます。

また、今回の切り替えとは別に、過去の運用において発生しやすかった「誤設定トラブルの事例」も併せてまとめました。データ未送信等の重大な請求不備を防ぐため、貴施設の設定を今一度ご確認ください。

1. 移行期限までに行っていただきたい作業

①フィードバックデータ（FB）の確保・保存

厚生労働省の LIFE で管理されていた過去の FB データや必要な情報は、サービス停止までに必ずダウンロードを行い、貴施設内の PC やサーバー等にて大切に保管してください。

※この機会に改めて FB データの確認（データ提出が正しく行えているか）をお願いいたします。

②新システムへの移行確認

今後の LIFE データ提出が滞らないよう、期限までに各施設様にて、国保連 LIFE システムへの移行作業（利用者情報の事前移行含む）を完了させてください。

2. 運用におけるトラブル防止の誤設定事例

今回の移管とは別に、過去の運用において誤設定やトラブルが発生しやすかった重要事例をご案内いたします。円滑な運用のために、改めてご確認をお願いいたします。※国保連 LIFE への移行後は、データ取り込み（CSV 送信）を行った後、国保連の LIFE 側で数名分の「直接編集画面」を開き、出力した内容が正しく登録されているかを詳細にご確認いただくことを強く推奨いたします。

次ページで個別の事例についてご案内いたします。

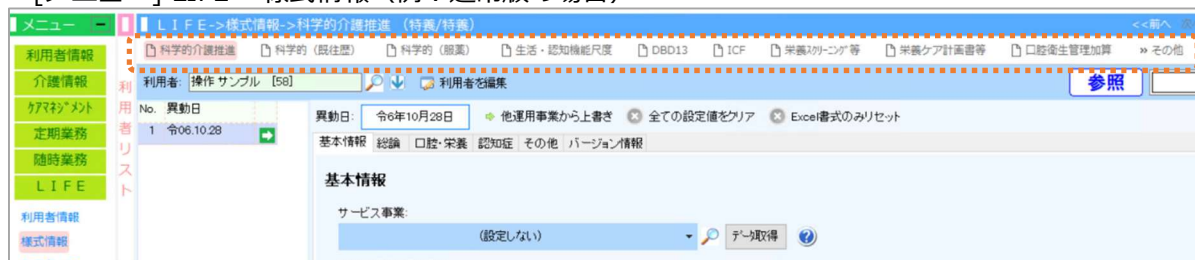
①LIFE メニューの切り替え確認

前回の令和 6 年 4 月の LIFE 改定に伴い、メニュー切り替えをお願いしておりますが、旧メニューのまま運用されているケースがございました。LIFE メニューの切り替え漏れがないかご確認ください。

《確認方法》

下図の LIFE 様式情報画面の上部に表示されているメニューと、別紙の『「Quick けあ」 LIFE システム 種別 メニュー名一覧』のメニュー構成（通常版と統合版の 2 種類ございます）と一致しているかご確認をお願いいたします。

[メニュー] LIFE->様式情報（例：通常版の場合）



（重要）

Build86 の新機能として「統合版」のメニューを追加しております。通常版のメニューと異なり、こちらのメニューは、「科学的介護推進」や「口腔衛生管理加算」等で登録画面が分割されているものを一つの画面で入力できるようにしたものになります。本メニューは、[運用の切り替えをご依頼いただいたお客様または令和 7 年 1 1 月以降の新規導入時に当該メニューをご希望されたお客様にご利用いただいております](#)。それぞれメニュー表現を以下の通り分けております。

画面タイプ	メニュー管理	内容
通常版	Ver1	LIFE 開始時に搭載された通常メニューです。「科学的介護推進」や「口腔衛生管理加算」等の基本画面に「 帳票表示用 」という項目が表示されており、当該内容を別の専用画面で登録する必要があります。
統合版	Ver2	Build86 で追加された新メニューです。「科学的介護推進」や「口腔衛生管理加算」など、これまで複数の画面に分割されていた入力項目を 1 つの画面にまとめました。（例：「科学的介護推進」の画面内で、“服薬情報”や“既往歴”等も併せて履歴管理が可能） <u>本メニューの登録画面には「帳票表示用」の項目がありません。</u>

※詳細については、下記のリンク先の「Build86 ピックアップ資料」をご確認ください。

（URL：<https://quickcare.jp/community/release-b86/>）

②「帳票表示用」項目の取り扱い（重要）

画面上にある「**帳票表示用**」の項目に入力されたデータは、国へ提出するデータ（CSV 出力）に含まれません。提出が必要なデータは、「**帳票表示用**とは別に、規定の「登録タブ（画面）」から正しく入力されているか」を必ずご確認ください。

【例】口腔衛生管理の場合（メニュー：LIFE > 利用者一覧）

③ファイル出力画面の設定確認（メニュー：LIFE > 外部出力）

CSV データを出力する際、出力設定の選択が間違っていると、登録したデータが正しく作成されません。以下の 2 点を必ずご確認ください。

●出力項目の選択について

LIFE へのファイル出力は、登録したタブ（項目）ごとにそれぞれ出力を行う必要があります。例えば「口腔衛生管理加算」（他にもございます）のように、項目別に出力ファイルが分かれている場合は、それぞれの項目ごとにデータを出力して送信する必要がありますのでご注意ください。

[メニュー] LIFE->外部出力

※今回の LIFE 移管とは別に、Build86 にて新たに【統合版】というメニューを追加しております。詳細は下記 URL でご確認ください。こちらの統合版メニューへ運用の切り替えを希望される場合は、弊社側でデータ移行作業等が必要となりますので、お手数ですが別途サポート窓口まで切り替えのご依頼をお願いいたします。
(詳細 URL : <https://quickcare.jp/community/release-b86/>)

●出力方法について

選択する出力方法によって、ファイルに含まれるデータの範囲が異なります。対象月に複数件の履歴（データ登録）がある場合は、運用に応じて以下の使い分けをお願いいたします。

出力方法: 指定月の最新データのみ出力
 ファイル出力先: 指定月の最新データのみ出力
 文字数桁: 文字数
 ファイル出力

No	出力方法	指定月「令和 8 年 1 月」の場合の挙動
①	指定月の最新データのみ出力	指定月と一致する異動日のうち、最新の 1 件（最新履歴）のみを出力します。 →同月内に履歴が複数ある場合、最後に登録した最新データのみ出力されます。
②	指定月のすべてのデータを出力	指定月と一致する異動日のすべてのデータを出力します。 →同月内に中間評価など複数件のデータ登録がある場合、すべての履歴が出力されます。
③	すべてのデータを出力	指定月以前に存在する“すべての過去履歴（退所者等を除く）”を出力します。 →過去の履歴に古い LIFE バージョンのデータが含まれる場合、LIFE 側の取り込み時にエラーになる可能性があります。

以上